

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	一の橋こどもの家
施設所在地	狛江市岩戸南1-3-12-1階
法人名	一般社団法人やよい会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感覚(折り紙、色鉛筆、クレヨン、ペン)

<テーマの設定理由>

色々な素材に触れてみたり、自分の感覚でどのような形になるのか、どのような色合いになるのかを楽しみながら体験しお祭りに飾る気球を作る。

2. 活動スケジュール

令和7年10月～令和8年3月（月4回活動）

・3～5歳児クラス（14名）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備したもの】 新聞紙 糊 折り紙 糊を配るトレー テーブルのマット 毛糸 画用紙 はさみ ペン セロハンテープ

4. 探究活動の実践



(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・新聞紙を丸めて20cmほどの球体を作る。いびつで良い。半紙に糊を付けて球体に貼って気球の元を作る。・元の球体が乾いたら、あらかじめ好きな色の折り紙を準備しておき一枚ずつ糊で貼ってゆく。球体を折り紙で貼り尽す。・画用紙を折ってカゴの部分を作る。・球体とカゴは保育者が毛糸で繋いだ。



・始めに新聞紙で球体を作る時に、普段よりも大きな物で手の平よりも大きなボールを作る事に新鮮さと楽しさを感じていたように見えた。キレイな球体にする事は難しく、個々の個性のある形になっていて、それが素敵なことだと伝えた。元の球体に自分の好きな色の折り紙を貼ってゆく作業もそれぞれがと



指で糊を貼っていったが、糊の使う量にも個性があり、糊をたっぷり使うと乾いたときにより固くなるんだと気付いた子もいた。にじぐみのお友だちが苦戦していると、子ども達が率先して手伝ってくれていた。

5. 振り返り

しっかり形のある物を皆で作ったがそれぞれ形がちょっと違ったり、色合いが違ったりお友だちの作品を見て褒め会いながら見ていた。自主的にお友だちにアドバイスをしたり手伝っている姿があった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	一の橋こどもの家
施設所在地	狛江市岩戸南1-3-12-1階
法人名	一般社団法人やよい会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感覚 (おままごと)

<テーマの設定理由>

日常生活の中で体験したことを模倣してごっこ遊びをする姿や、個での遊びから「○○しよう」「一緒に！」と遊びに誘って一緒に遊ぼうとする言葉が増えている。食材への興味も高まっている。遊びを通して、食材の名前やどんな味がするのかを知ったり、創作した料理の味をイメージして想像力を育むことをねらいとし、設定した。

2. 活動スケジュール

令和7年12月～令和8年2月（月4回活動）

3～5歳児クラス（14名）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備したもの】おままごと・エプロン・かばん



4. 探究活動の実践（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・エプロンやカバンを身に付けると、おままごとで使うおもちゃを集めて遊ぶだけでなく店員やお客さんになりきって、お互いに会話を通しながら遊びを充実させていた。・遊びだけでなく、片付けの際にもカバンを使って片付ける事でスムーズに集めることができている。

・保育士がマットを並べてテーブルのようになると、ただ集めるだけでなく、皿やお椀にキレイに盛り付けたり本格的なイメージをしながら取り組んでいる。



5. 振り返り

・特にゆき組や女の子グループは調理の様子をイメージしながら遊んでいることが多いので、食育の活動にも繋げていきたい。

・遊びに夢中になるあまりおもちゃを独占しないように気をつけていく。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	一の橋こどもの家
施設所在地	狛江市岩戸南1-3-12-1階
法人名	一般社団法人やよい会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感覚 (不織布・カラーポリ袋)

<テーマの設定理由>

発表会の本番や練習時、劇遊びやダンスを踊るときなど不織布やカラポリで作った衣装を身にまとい、役になり切ったり演出の世界観に浸ったりする感覚を楽しむ。

2. 活動スケジュール

令和8年1月～3月 (月4回活動)

・3～5歳児クラス (14名)

・劇遊びやダンスの練習、本番の時に不織布やカラポリで作った衣装を着る

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備したもの】

・不織布やカラポリで作った衣装 ・音響設備 ・剣などの小道具

4. 探究活動の実践

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

・劇中の衣装を着ることにより、自分が違う人物になったような立ち振る舞いをし、劇遊びに入り込んでいた

・友達の姿を見て普段と違うかっこよさ、可愛さを感じて言葉でお互いに伝え合っていた



・ダンスの衣装は全員が統一されているので全員の一体感を感じる事ができ、またヒップホップというスタイルに全員で浸る感覚になり、よりダンスを楽しめた



・保育者が子どもたちのリクエストも聞きながら不織布とカラーポリ袋で衣装を作ったので、子

5. 振り返り

・発表会の練習や本番の経験を通して、不織布やカラーポリ袋での衣装を着る機会があり普段と違う自分たちに接して子どもたちはとても嬉しそう楽しそうだった。

・クラスでの一体感や劇中での世界観などを味わうことができた

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	一の橋こどもの家
施設所在地	狛江市岩戸南1-3-12-1階
法人名	一般社団法人やよい会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感覚

電子ピアノ、ハンドベル、鈴、スピーカー

<テーマの設定理由>

日中に歌っている季節ごとの歌に合わせて楽器を鳴らしてみたり、みんなのよく知っている曲を自分で鍵盤に触れて演奏することで音楽に対する関心を深める。

2. 活動スケジュール

令和7年7月～令和8年2月（月5回活動）

- ・ 3～5歳児クラス（14名）
- ・ 幼児クラスにて室内での活動や自由遊びの合間に行く。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備したもの】

- ・ 音響設備

4. 探究活動の実践

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

- ・ 楽器を鳴らすだけでなく、それぞれの音に合わせて並んだことでドレミの音階を意識しながらハンドベルを鳴らすことが出来た。「ピアノと同じだ」とドレミで演奏できる



- ・ 保育者が演奏すると「自分達も弾いてみたい。」と声があがる。電子ピアノに触れることでどのような音が出るか興味を持ち、リズム良く弾けると繰り返し演奏してみようと楽器演奏に対して意欲的になっていた。



5. 振り返り

- ・ 保育者の声かけやBGMに合わせて楽器をならしたり動いてみたことで、全体で楽しんで楽器を演奏することができた。
- ・ 使い方や持ち方を改めて確認しあったことで活動に対して真剣に臨むことが出来た。

施設名	一の橋こどもの家
施設所在地	狛江市岩戸南1-3-12-1階
法人名	一般社団法人やよい会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感覚(もちつき)

<テーマの設定理由>

もちつきを通して日本の伝統行事への理解や、お友だちや保護者様など周りへの感謝の気持ちの大切さを深める事、皆で協力して作業を行う事で達成感や一体感を感じる事、餅をつく音や感触など日常生活では難しい体験をする事を目的としてテーマを設定。

2. 活動スケジュール

令和8年1月4日～1月22日(月3回活動)

・0～5歳児クラス(35名)

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【準備したもの】

・杵 ・臼 ・もち米 ・全クラスで行う事で、餅つきの仕方などを理解して盛り上げていけるようにした。

4. 探究活動の実践(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<活動の内容>

- ・全クラス合同でもちつきを行う
- ・準備を始めるとどの子ども杵と臼に興味津々で座っていた場所から身を乗り出して前のめりになって見ていた。中には、興味を示さない子もいたが、お友だち達が興味を持つ事で、人だかりに視線が向き、杵や臼にも興味を示していた。
- ・もち米が登場して調理師からもち米やもちつきの説明がされると調理師に注目して真剣な表情で話を聞いていた。
- ・始めに保育者がもち米を潰して付き方のお手本を見せると、事前に立ち歩かない事を約束していたので、その場から立ち歩く事はなかったが、早くついたようにソワソワとした様子が見られた。
- ・5歳児クラスから順に呼び、数回ずつもち米をついてもちつきを体験する。杵は3歳以上は自分で、難しい子は保育者と持って体験。お友だちがつき終わる度に“次は?”と呼ばれるのを楽しみにする様子が見られた。終わった子達も”どうだった”と感想を言い合ったり、お友だちがつく姿を見たりと行事に真剣に取り組んでいた。



5. 振り返り

もちつきへの興味に差があり、興味を示していても杵や臼、もち米を怖がって体験する事が難しい子もいたので、子どもの反応を見て無理に体験させる事はせずに行事に最後まで楽しんで参加する事を大切に進行した。0～5歳児クラス合同で行ったので、年上の子達をお手本にする事で年下の子達も約束を守って、もち米の変化を見て驚いた表情、体験時に真剣な表情など様々な表情を見せて会を楽しむ事が出来ていた。